

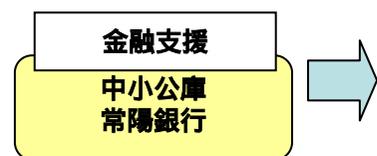
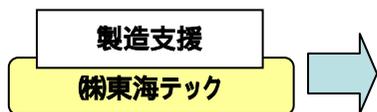
地域	茨城県つくば市	認定日	平成20年2月28日	3 - 19 - 103
事業分類	製造(電子部品)	テーマ分類	その他	

事業名： 大型スクリーン向けカメラ方式タッチパネルの開発並びに事業化

事業概要(新規性、市場性等)

- ・大型スクリーン市場には、大きく「電子黒板」と「タッチパネル付大型ディスプレイ」があり、従来方式には、感圧方式、電磁誘導方式、超音波ペン方式、赤外線マトリックス方式等があるが、指での操作性や精度の面から課題が多かった。
- ・本事業で開発するカメラ方式は、従来方式のタッチパネルとは異なり、タッチする指の像を2台のカメラで撮像し、画像処理技術によりタッチした場所の情報をコンピューターに入力するもので、指一本で精度の高い操作が可能である上、複数の指でもバリエーションに富んだ操作が同時にできる「マルチタッチ」機能を有しているとともに、スクリーンが大型化してもコストアップ無く性能を保持できるという利点も有る。
- ・本事業では、電子黒板やディスプレイメーカー等へタッチパネルとして提供し、事業化を図る。

事業推進体制

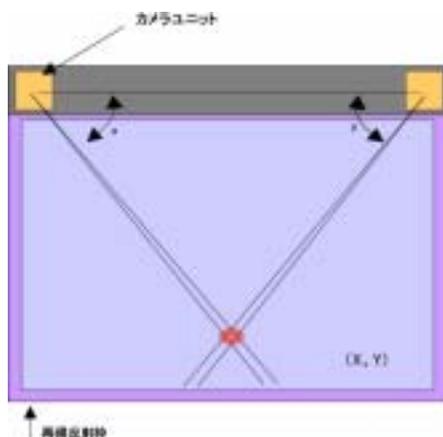
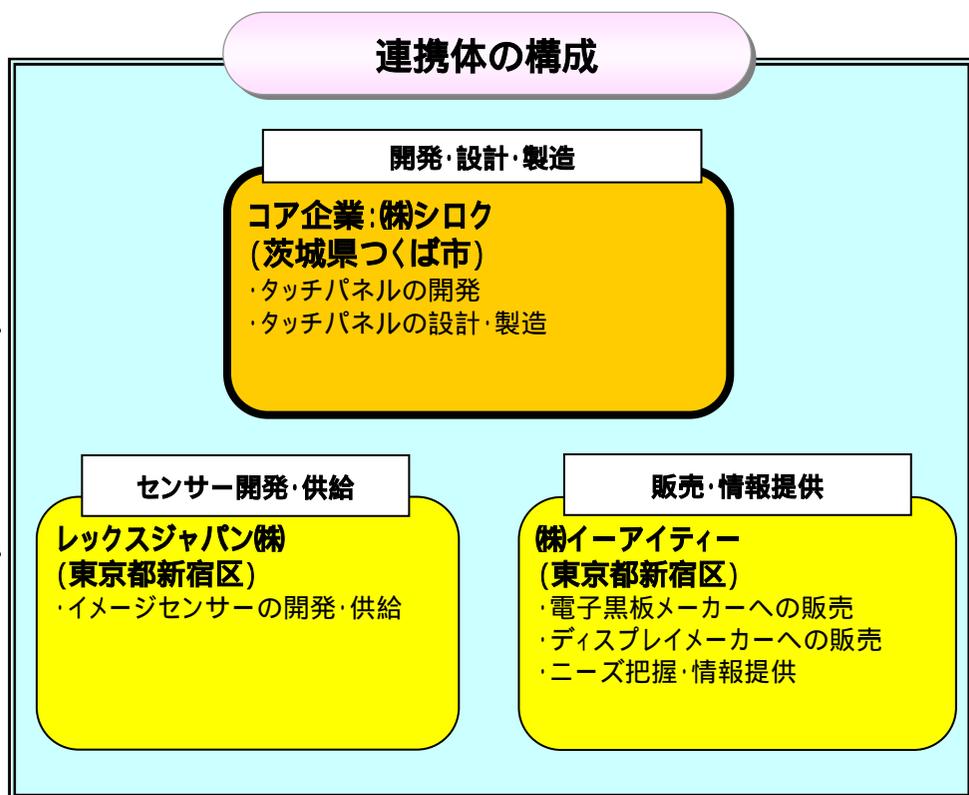


支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)



連携体の構成



連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業である㈱シロクはカメラ方式タッチパネルの事業化を目指しつつ、これまでに多様なユーザのニーズに対応しながら、本格的な事業展開が見込める市場を模索してきた。その過程で、大型スクリーン市場の今後の急拡大と、この分野におけるカメラ方式タッチパネルの優位性が実証されたため、本格的な事業展開を図ることにした。
今までの㈱イーアイティーを通じたテスト販売により、性能面では申し分ないが、外光耐性と安定供給に課題があるということが明確になったため、レックスジャパン㈱と連携を組み、専用のイメージセンサーを製造し、これを使用したタッチパネルを新たに開発することによりこれらの技術課題を解決すると同時に、販売面では、既に多くの大手メーカーとのネットワークを有する㈱イーアイティーと連携体を構築することで事業化を図る。
- ・カメラ方式タッチパネルの特許を多数保有し、技術開発に強いコア企業㈱シロクと、イメージセンサーの開発経験と技術情報を有するレックスジャパン㈱、大手ディスプレイメーカーや電子黒板メーカー等とのネットワークを持っている㈱イーアイティーとの連携で、本方式のタッチパネルの市場化を図る。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社シロク 代表取締役 小川 保二	
所在地	茨城県つくば市千現二丁目1番地6	
創業	平成13年	
資本金・従業員数	1,000万円	8名
業種	電子計算機・同附属装置製造業	
T E L	029 - 849 - 5200	
F A X	029 - 849 - 5201	
ホームページ	http://www.xiroku.com/	
e - m a i l	ogawa@xiroku.com	

PR等その他の情報

- ・現在、学校等においてプロジェクトで投影して使う電子黒板の市場が世界で年間数十万台と急拡大しており、電子黒板メーカーへ、高いコストパフォーマンスをもつカメラ方式タッチパネルのセンサーモジュールを供給することにより、現在主流である感圧抵抗方式や超音波ペン方式をリプレースすることが可能となり、供給されたメーカーは世界で高いシェアを獲得することができるようになります。
- ・大型の液晶やプラズマディスプレイ向けにマルチタッチ可能な高性能タッチパネルを供給できるようになるので、この市場でも世界的に高いシェアを獲得することができます。